本人の状況説明書

※この説明書は，申立書記載の本人について，生活状況，経歴，心身の状況等をご記入いただき，申立後に行われる家庭裁判所での調査，審判の大切な資料とする目的で作成をお願いするものです。そのためなるべく正確に，詳しくご記入をお願いします。

【記入者】 氏名 ㊞

【記入日】 令和 年 月 日

 ※該当する□にレを記入してください。

１ 本人の生活状況について

 (1)居所：□ 住所地で生活 □ 病院に入院中　□ 施設に入所中

　　　　　 □ その他（ ）

 　※病院，施設及びその他の場合は名称，住所，電話番号，分かっている場合は本人の　　　　 担当者名（生活相談員，ケースワーカー，看護師長等）を記入してください。

 名　称 電話番号 （ ）

 住　所 〒（ － ）

 担当者

 (2)本人が住所地等で生活している場合，介護サービス等は利用していますか。

 □ 利用していない。

 □ 利用している。その内容は次のとおり（複数回答可）

□ 介護へルパーが週 回本人宅を訪問している。

□ デイサービスを週 回利用している。

□ ショートステイを利用している。

□ 市町村の権利擁護支援事業を利用している。

サービスを受けている団体名

２　本人の経歴（最終学歴，職歴）について

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年月 | 最終学歴 | 年月 | 職　　歴 |
| 大・昭・平・令 年　 月 |  　　　　　　　　　校 卒業 ・ 中退 |  年　 月 |  |
|  年 月 |  |
|  年 月 |  |

３ 本人の心身の状況について

 (1) 公的機関の判定について

　　　□ なにも判定を受けていない。

　　　□ 次の判定を受けている。（複数回答可）

□ 療育手帳 （Ａ Ｂ１ Ｂ２ 判定）

□ 精神障害者手帳 （ １ ２ ３ 級判定）

□ 要介護認定　　 （要支援　要介護　１　２　３　４　５　判定）

 ※判定を受けている場合は，手帳の判定部分などの写しを提出してください。

 (2) 記入者から見た本人の状態について

□ 一人暮らしも可能であるが，重要なことは相談相手が必要である。

□ 日常の買物等は本人ができるが，高価な買物，契約行為は誰かの同意を得た

上でするようにしないと，だまされるかもしれない。

□ 理解力及び判断力がなく，財産管理及び契約行為は誰かが代理して行う必要

がある。

□ いわゆる植物状態又は植物状態に近い状態である。

□ その他（ 　 ）

 (3) この申立てをすることを本人は知っていますか。

 □ 知っている。

 □ 知らない。その理由は次のとおりである。

 □ 本人は理解できる状態ではない。

 □ 本人は理解できる状態であるが，本人への精神的な影響を考えて，知らせていない。

 □ 本人が申立てに反対している。（理由 ）

 □ その他（ ）

　(4) 本人との意思疎通について

　　　□ 言葉は出ない。　 □ 会話は可能だが意味不明　 □ 簡単な応答程度

　　　□ 日常会話が可能　 □ 言葉，筆談，身振りなどにより意思疎通ができる。

　　　□ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）

４ この申立てそのものに反対だったり，もしくは候補者が後見人等になることに反対している家族はいますか。

　　□　反対している家族はいない。

　　□　　　　　　　　　　（本人との続柄　　　　）が反対している。

５ 原則として本人の鑑定が必要ですが，鑑定を依頼できる医師がいますか。

□ 診断した医師が内諾している。

□ 次の医師に依頼可能である。

 病院名 　 医師名　　　 　　　　　　専門の科目

 　　 電話番号 　 住　所

□ 探してみたが，依頼できる医師が見当たらない。 ※鑑定の目的は，本人の財産管理能力について医師の判断を求めるものであり，原則的に本 人の状況をよく理解されている主治医，診断医にお願いしているのが実情です。鑑定医が 見付からないと鑑定依頼に時間が掛かりますので，できる範囲で結構ですが，鑑定を依頼 できる医師を確保するためのご協力をお願いします。

６　その他，家庭裁判所に特に注意してほしいことなどがあれば記入してください。